

科目名 生活者の健康を守る法と施策 時間割表記名 生活者の健康を守る法と施策		配当時期 2 年次 後期 単位数 1 単位 時間数 15 時間(8 回)	講義担当者 荒木 紀代子
事前学習内容 各学習内容について、テキストを熟読しておく			
授業目標 1. 生活者の健康を守る法律と施策について理解することができる			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる			
授業の流れ			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	1. 公衆衛生と健康教育 1)健康の基本的考え方、公衆衛生における健康教育と保健活動、健康教育のすすめ	講義	テキスト①②
2	2. 健康教育の目的・理論	講義	テキスト①②
3	3. 地域保健法と健康増進法	講義	テキスト①②
4	4. 公衆衛生活動の実際		
5	1)地域活動の公衆衛生学的意義、母子保健、学校保健、地域保健対策、産業保健、老人保健福祉、精神保健福祉対策、歯科保健対策、在宅ケア・訪問看護、難病・障害者に関する対策		
6	5. 保健活動の基盤	講義	テキスト①②
7	1)地域保健行政と保健所、(地域保健行政の組織、地方公共団体の保健衛生費、保健所の組織と活動、保健所の組織、保健所の活動)地方衛生研究所の組織と活動、精神保健福祉センターの働き、市町村保健センターの働き、保健師の活動と今後の展望 6. 健康危機管理・災害保健 7. 公衆衛生における今日的課題と展望 1)看護をめぐる公衆衛生の動き、これからの保健・医療・福祉		
8	筆記試験(45 分)	試験(筆記)	
受講上の注意			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 公衆衛生学, メヂカルフレンド社 ②国民衛生の動向			

